

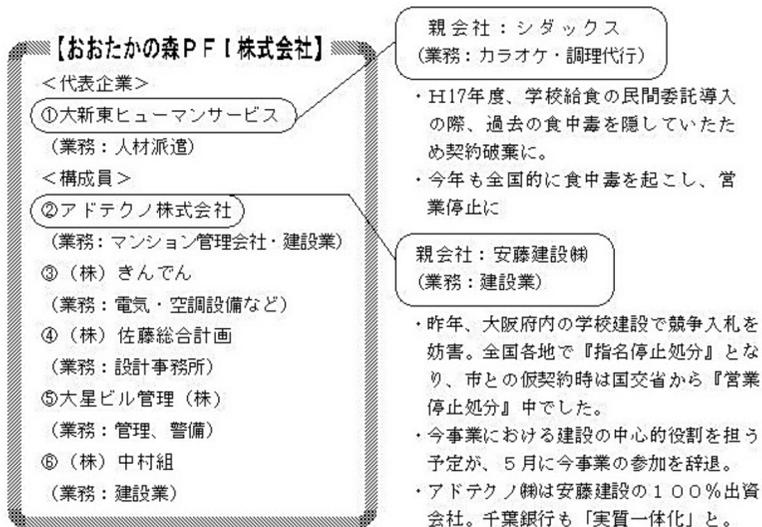
小山小学校移転・民営化問題

こんな業者の決め方、許せません！

『入札約款』に反し、一社グループだけで業者決定

きょうそうにゆうさつやっかん
『流山市競争入札約款』
第10条の3
「入札参加者が1以下となったときは、特別な事情がない限り入札を取りやめるものとする。再度入札においてもまた同様とする」

問題だらけの企業グループ



都市再生機構の
値段つりあげで、
用地確保しないまま強行

6月議会で建設のための契約議案は可決されましたが、肝心の用地はまだ取得していません。
茨城県牛久市では、同様の開発によって予定していた学校用地について、都市再生機構が約束をほごにして土地の値段をつり上げてきたため

に、交渉は決裂しました。流山市でも、都市機構が土地の値段をつり上げ、交渉中です。
当初の予定でも15億円余の土地購入費。都市機構のいいなりになれば、さらに莫大な税金投入になりかねません。

「民間（株式会社）の活用」というけれど
教育を守り、住民の利益になるでしょうか

請負会社は『おおたかの森PFI株式会社』に。総事業費43億円で、今後20年間の維持管理・運営をすすめます。市長は「財政の効率化のために民間の力を活用する」とし、推進派議員は「セキュリティも万全。すばらしい学校」とほめたたえます。

しかし、教育・福祉に対する市の責任については一言もありません。教育・福祉施設にもかかわらず、不透明な入札、不正業者の参加など問題ばかりの計画で、流山市が教育福祉に責任を果たせるでしょうか。今からでもやめるべきです。

問題はこれからです。
ムダな公共事業と民間委託推進の
小山小学校移転PFI事業はストップを！